

主催：NPO法人就労継続支援A型事業所全国協議会
鳥取県就労支援継続A型事業所協議会
協力：公益財団法人ヤマト福祉財団

地方でも出来る、地方だから出来るA型経営

日時 2024年2月17日(土曜日) 14:00~17:30

会場 米子ワシントンホテル らん東(鳥取県米子市明治町125)

◆開会・開会挨拶 NPO法人就労継続支援A型事業所全国協議会 久保寺 一男氏

令和6年の報酬改定では経営改善の提出を行っている事業所では厳しい声を聞く、真剣に経営改善に取り組んでいく事が重要。

昨年4月に障害者総合支援法一部改正、一部施行されている。今年の4月に本格的な運用がされる。A型が雇用率に算定するのか注目が集まるが、我々はA型のあり方、サービスについて考えていかないといいけない、とりわけ働けない障がい者、重度障がい者の働き方を考え取り組んでいく。

◆講演「経営改善計画とは？赤字脱却の就労支援会計になる方法」

(株)インサイト 関原 深氏



◎事業の概要：障害福祉に特化して17年目、厚労省のA型の基準事業、モデル事業マニュアル作成、行政の実地のポイント作成、会計基準の正しいやり方。利用者と事業者のニーズの確認、B型の工賃向上サポートからA型の経営改善計画のサポート、研修4,000件、コンサル1,400件、全国の現場に実際に赴き数値や支援の内容をサポートしている。

◎R6報酬改定確認：経営改善計画出されているところで、改善できるのか。2年以内には改善、3年以

内に改善、改善不能。改善できないのは福祉理解がない、生産性向上力がない、支援力が最も求められる事業である。長時間労働を評価アップ、収支を評価アップ、働き方、支援力はダウン等

◎戦略シートの作り方：経営改善計画は遅くとも3か月前が良い。戦略は7パターンしかない→各作業別に戦略を設定。課題設定のフローチャートを使っての落とし込み。作業別収支の確認一人当たり支払可能工賃を確認、自主事業の場合は原価率を確認。請負事業は作業単価の見直し、単価交渉のポイント。

◎18項目：現状を示す3分野18項目、事業6項目、支援6項目、組織6項目。5点満点で18項目つける。詳細説明とデータ紹介。作業アセスメント等

古く凝り固まった考えの組織は新しい情報、知識を入れていく事、15人の組織の中で1人巻き込むことで活性化する。

◆パネルディスカッション

パネラー

一般社団法人 Agrikola 水野 智大氏

株式会社フレンズカンパニー 中井 恭子氏

社会福祉法人ふらっと 佐藤 靖夫氏

社会福祉法人南高愛隣会 釣船 一満氏

コメンテーター

株式会社インサイト 関原 深氏

進行

鳥取県障害者就労事業振興センター 濱田 和弘氏



●一般社団法人 Agrikola 水野 智大氏

「卵であなたを幸せにする事業」をしている。北海道当別町人口15,000人

森の中の放牧養鶏場、10個入り615円。コープ160万円/月、店舗170万円/月

スタート時は小規模、今は7,000羽平飼い付加価値を上げている。生臭さない。オーガニックエッグ150円～170円/個希少価値あり、スコアも上がる。昨年6,500万円見込み。初年度赤字1,000万円。飛び込み営業リッツカートンでもすぐに採用、オーガニック認証の付加価値大。1億円を目指している。利用者の社会保険の完備、ロスが出るのでマヨネーズ工場を目指している。1か月に1回利用者さんを主体（はじめは自分が参加していたが要望の場になるので今は参加していない）にした業務改善会議を行っている。A型10名 B型10名

●株式会社フレンズカンパニー 中井 恭子氏

鳥取県北栄町 名探偵コナンの町で手焼きせんべいを作っている。「地域の中で働き共に生きるという理念」のもと、廃業するせんべいやで修行し継承。①せんべいの製造、販売 ②県外施設の商品販売、道の駅など ③清掃作業 ④委託事業

地域の交流の場となっている。関原さんにコンサルで入っていただき、皆で共有した。商談会にたくさん参加し商品開発に繋がっていった。課題解決に向かって2年半かかった。息子が書いた字をロゴにブランド化していった。

コナンせんべい缶入り1, 500円、2023年185, 000枚。2. 65倍に売り上げが増えている。県内販売先13か所、ふるさと納税など。地域に助けられ継続している。

1円でも多くの利益を！

●社会福祉法人ふらっと 佐藤 靖夫氏

島根県松江市で印刷業と飲食業の2ヶ所をA型で行っている。プロバスケットチーム「すきのおマジック」と14年間連携し事業運営している。動画にて事業紹介 選手がレストランを利用するときベジタリアンの選手の要望に合わせた食事の提供をするなど、サポートしている。シーズン中は出店を行うなどしている。チームと福祉が良好な関係を築いている。理事長は障がい当事者でいつもやりたいことはないの？と尋ねられる。山陰で頑張っている。

●社会福祉法人南高愛隣会 釣船 一満氏

長崎県でA型4事業所を運営している。「生きる誇り」「人生は楽しい」をビジョンに取り組んでいる。働く挑戦を支えたい。経済的自立、社会的成長。誇りを感じられる。利用者に選ばれる事業所を目指している。

① 乾麺製造：重度の障害者も雇用できる。HACCP取得している。

②③ 弁当362日営業 1日2, 000食 前室工程での衛生管理に力を入れている。作業を標準化の工夫をしている。増産のための設備投資。

③ 瑞宝太鼓100回/年公演 海外公演、和太鼓の講習活動など。昨年度決算状況黒字 直近12月も黒字、3年間の就労収支コロナ時も落ち込まず出来た。8年前は赤字になった、コストの削減、営業の強化、衛生の強化、自らも一体になって改善してきた。デマンド対策を行った、歩留まりを良くした。赤字の原因追及

現在、スコア3事業所200点、1事業所185点 就労事業管理表を作り管理している。毎月振り返ることを繰り返している。

◆質疑応答

あかり広場 渡部氏：中山間地で事業しているが水野氏は地方で福祉をどう思われますか。

水野氏：得意技をいかして収益性をあげる、町を巻き込むのは良いと思う。

山陰福祉の会 山中氏：B型は安定しているが、A型は不安定だが、、釣船さんに

釣船氏：働くことに力を入れている、障がい特性で一般就労できない人の受け皿をしている。給料を見て喜んでるところをみて、頑張っていこうと思っている。

◆講評

関原氏 自主事業の強み、認定をもっている事業と支援が出来ている。

商標をとる事、実際にアセスメントを取り入れること、すぐに実行良い

BJリーグから要望もらえることはすごいこと、福祉とスポーツは相性が良い。

4件中3件200点 A型で興行はびっくり。価格を自分で決められる強み

HACCP 認定を県内でいち早く取ることはすごい。地域で役割を果たしている、得意を生かしていること。ストーリー、根拠、共助、を高いレベルで企業を超えるレベルで実践されていることは素晴らしい。

◆パネラーより

水野氏：下向きにならない。優しさは差別の始まりではないか、平等ではないのではないか。

中井氏：1948年76年前先代が始めた手焼きせんべい、100年伝統が受け継いでいけるよう望んでいる

佐藤氏：法人の理事長が物差しであり、常日頃理事長が言っているのは、障がいのある方たちも世の中に

役立ちたいと思っている、それを我々はどうやって具現化できるか考えている。

釣船氏：A型事業所問題ある、情報公開をする、2022年全Aネットの優良事業所を活用している。大変だが皆さんと情報共有していきたいと思います。

報告者 岡村 恵美 (NPO 法人フェリース)